



# 2024年3月期 第3四半期決算説明資料

2024年2月13日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

当社は、2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。  
そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、  
特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

**会社概要 事業内容**

**業績概要**

**S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン**



## 経営理念

- 1** ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する  
ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。SIGグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2** 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる  
ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3** 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する  
幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。
- 4** 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す  
会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

## 会社名

株式会社SIGグループ

## 代表取締役社長

石川 純生

## 連結従業員数

568名（2023年12月末日時点）

## 設立

1991年12月16日

## グループ会社

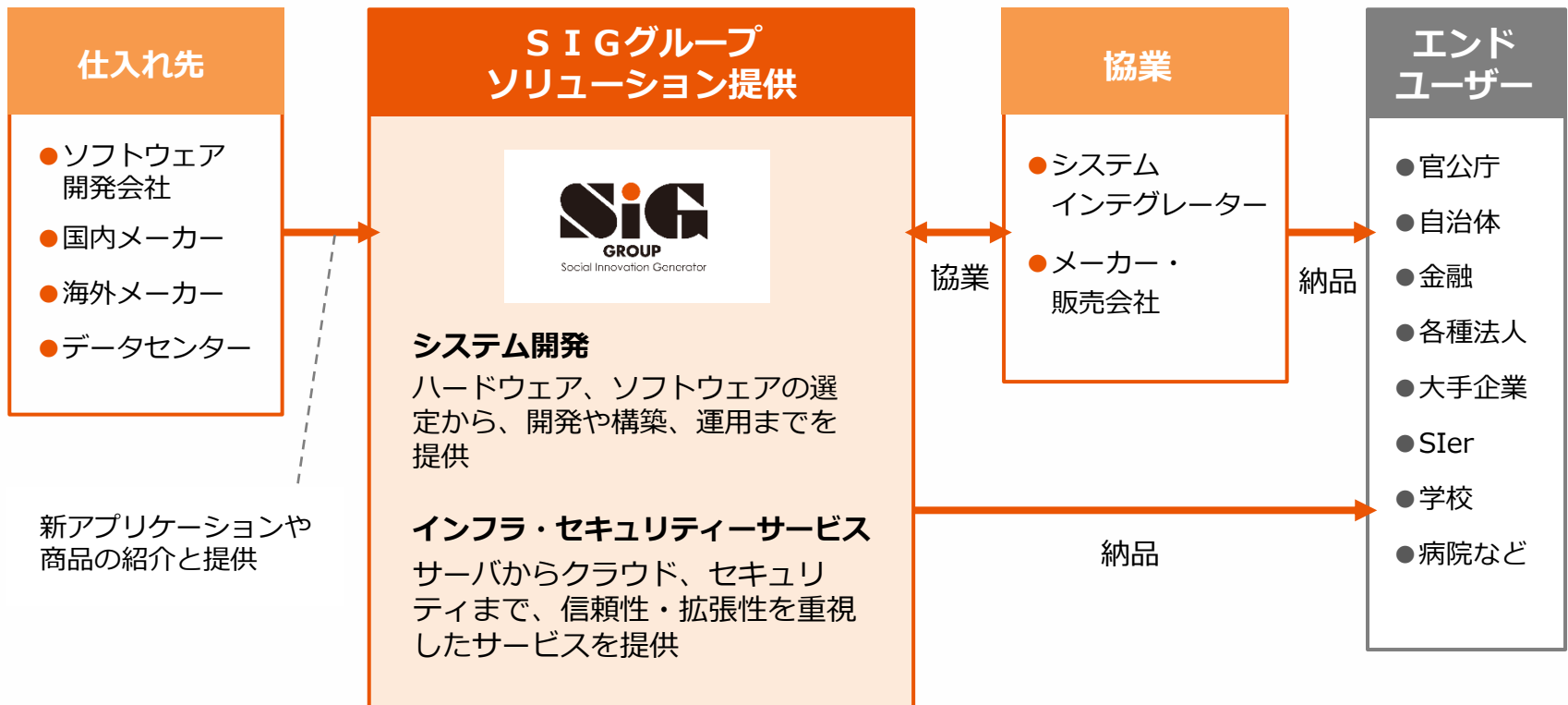
株式会社SIG

株式会社Y. C. O.

株式会社アクト・インフォメーション・サービス

株式会社アクロホールディングス

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



## システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



## インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティの設計から構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン  
システム構築



防災システム  
構築



クラウド/  
ビッグデータ



クラウド環境  
セキュリティ診断



指紋認証



# 業績概要

## 既存事業、新規受注ともに好調に推移し、売上高は対前年を大きく上回る

- 前期末に子会社化した株式会社アクト・インフォメーション・サービス（以下、「アクト社」）を除いた既存事業の売上は公共案件の新規受注やヘルスケア、エネルギー系の新領域への進出により好調に推移し、対前年で378百万円増加し、営業利益は対前年で22万円増加しました。
- 営業利益は、売上高上昇に伴い好調に推移し、前年を上回りました。
- 第2四半期における投資損失計上の影響で、当第3四半期の累計純利益は前年を下回りました。

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期（連結）			
	第3四半期実績	第3四半期実績	前年同期比	業績予想（通期）	進捗率
売上高	3,893	5,111	31.3%	6,500	78.6%
営業利益	211	235	11.5%	315	74.7%
営業利益率	5.4%	4.6%	-	4.8%	-
経常利益	287	234	▲18.3%	360	65.2%
当期純利益	205	117	▲42.7%	220	53.4%

## システム開発

(単位：百万円)

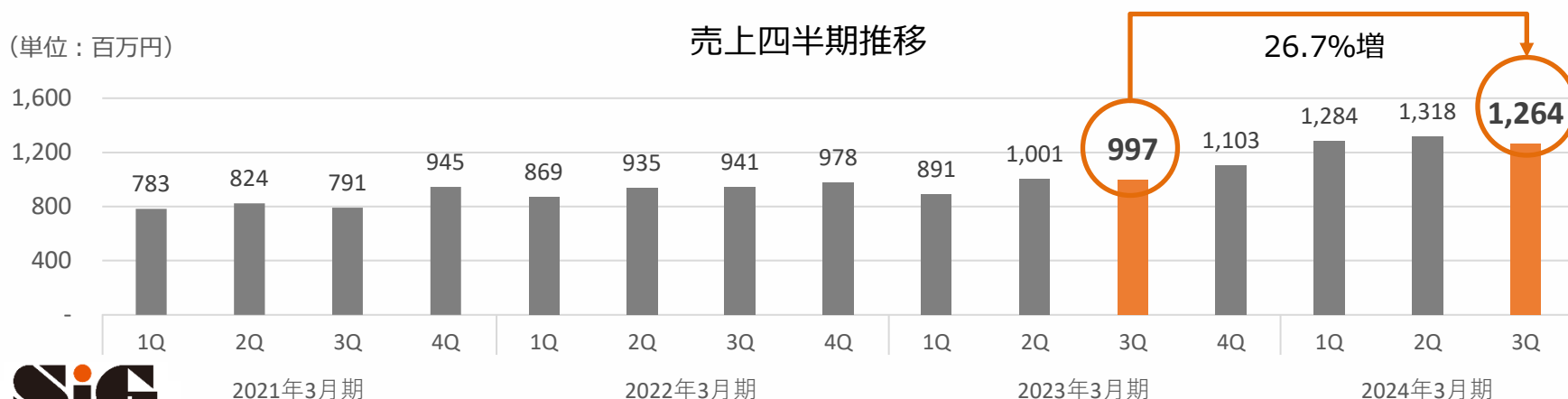
	2023年3月期3Q	2024年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	2,890	3,867	33.8%

アクト社の売上高（839百万円）を当連結会計年度より連結対象に取り込み売上高は大幅に上昇  
 既存分野では製造系が市況の影響により減収もサービス系・公共系、エネルギー系が伸長した結果、前期比を上回り、好調に推移

- ・製造系：鉄鋼系プロコンシステム開発の請負案件の一部が2Qで終了したほか、2023年度の半導体市況が停滞したことの影響により、2Qから電子部品実装機関連の開発体制が大幅に縮小
- ・公共系：既存の政令都市向け人事給与システム保守・改修や公共系システム品質保証業務、自治体向けシステム構築などの安定需要のほか、2Qに新規受注した政令都市向け国保標準システム導入案件の体制拡充により好調に推移
- ・サービス系：主軸となる既存のMVNO\*向けシステム開発の需要が引き続き好調のほか、ホームセンター向けの大型DX案件の請負案件の売上と、物流やその他の既存ユーザ向けシステム開発の安定需要に加え、近年取引が拡大している一般社団法人向けシステム開発等が好調な結果、前期比を大幅に上回り着地

(単位：百万円)

### 売上四半期推移





## インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

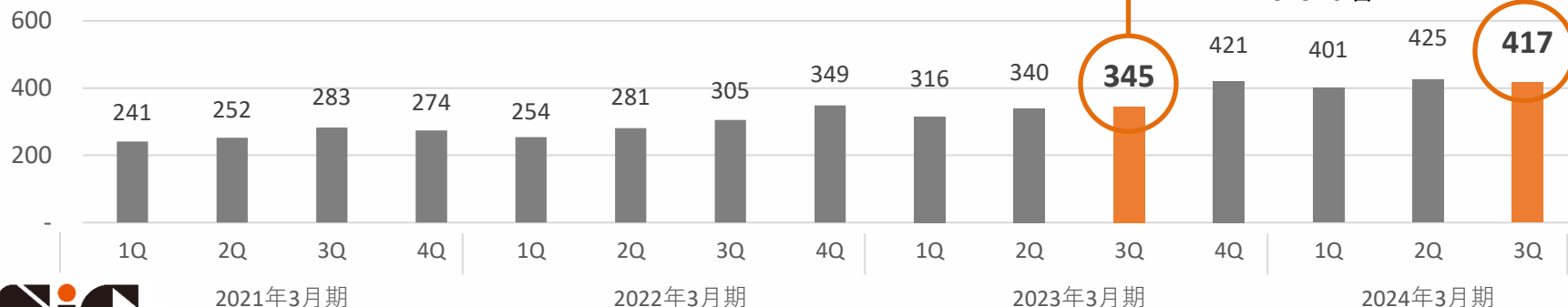
	2023年3月期3Q	2024年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	1,002	1,244	24.1%

### クラウド移行案件需要の高まりやセキュリティサービス領域拡大等による前期からの高成長を維持 全国事業所拠点連携推進により例年以上の成長を実現

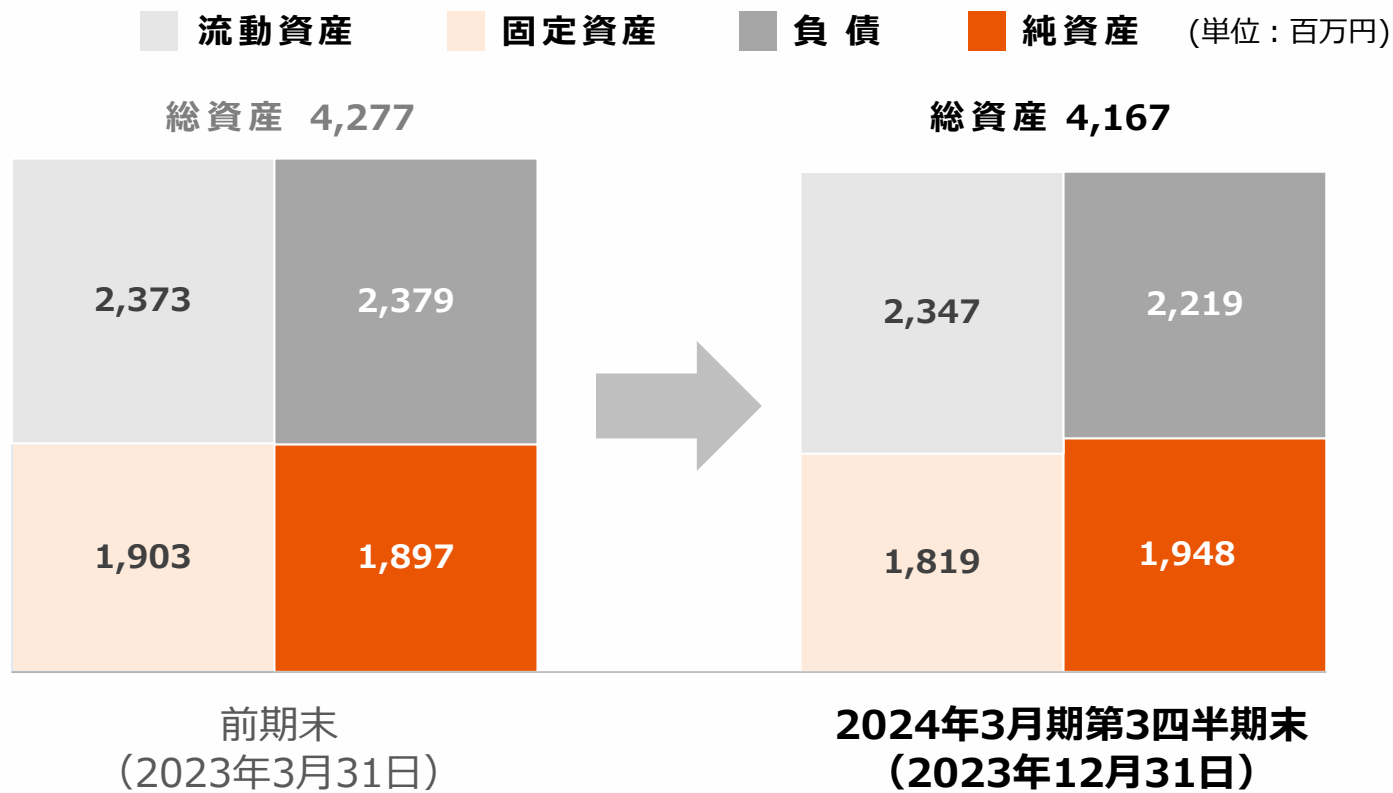
- ・公共系 : 受託領域拡大努力により売上増となった一方、要員不足により外注比率が高まったが、全般的には堅調に推移
- ・エネルギー系 : 全般的に需要に応えられない状況が続いているが、開発・保守工程から上流工程へのシフトや当社では新領域となる設備管理パッケージへの進出等が重なり、売上が堅調に推移し、事業業績に大きく貢献
- ・金融系 : 受託領域や開発体制が安定し、CSソリューションセンターを中心とした地方拠点連携の延長上で1拠点増となり堅調に推移
- ・セキュリティ系 : 高付加価値案件への要員配置や既存案件の単価アップにより業務領域に加えて量的にも拡大し、大幅増収増益傾向
- ・サービス系 : AWSクラウド案件やシステム構築案件などの受託（請負）を対象に、全国拠点連携案件を強化させた結果、売上、利益共に増加傾向

(単位：百万円)

### 売上四半期推移



- 流動資産：未収消費税等の還付による減少
- 固定資産：のれん、関係会社株式による減少
- 純資産：当四半期累計期間の純利益による増加



# SIGグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

## 経営理念

## ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO\*として成長に貢献」

## 長期ビジョン ありたい姿

### 現状維持へのシステム構築 既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGグループができるソリューションを構築

### 事業成長へのシステム投資 新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

## 中期計画 課題と施策

## 第1フェーズは、SIGグループ文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による  
ビジネスチャンスの拡大

### 「崖越え\*はSIGグループ」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

\*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

顧客のビジネス変革（DX）を支援

得意領域の実績と  
新規事業の注力分野  
を融合させ、DX  
ソリューションを  
提案できる体制へ

持株会社として  
機能を活かして  
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす  
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス  
クラウド  
セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造  
社会インフラ  
金融 拠点

アクロHD との  
協業

グローバル  
人材

## 「崖越えはSIGグループ」の体制を構築し、売上高60億円\*を達成

### 方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

### 売上目標

(単位：百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (目標)	2024年3月期 (計画)
売上高	5,418	6,000	6,500
営業利益 (営業利益率)	391 (7.2%)	600 (10.0%)	315 (4.8%)
EBITDA	444	—	438

### グループ体制 2023年12月31日現在

#### 持株会社

(株) SIGグループ

企業文化の形成

#### 事業会社

(株) SIG

(株) Y. C. O.

(株) アクト・インフォメーション・サービス

(株) アクロホールディングス

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

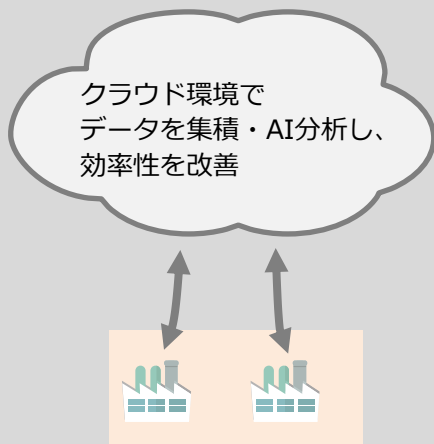
独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

大手企業案件で培った、多岐にわたるシステム開発・保守の高い技術を所有

個性豊かなIT企業グループの総合力でデジタル分野の全領域をカバー

## AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援



### 実績

- IoTを利用した設備保全管理
- AI技術による生産性向上システム

## クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

### クラウド化支援

- クラウドへのデータ移管業務
- データ分析・解析用の基板構築支援

### セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション設定確認

### 保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

## ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から次世代事業を検討できる人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システムソリューション事業部

ICT事業部

西日本事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供の第一弾として「AWS安全化ソリューション」のセミナーを始動

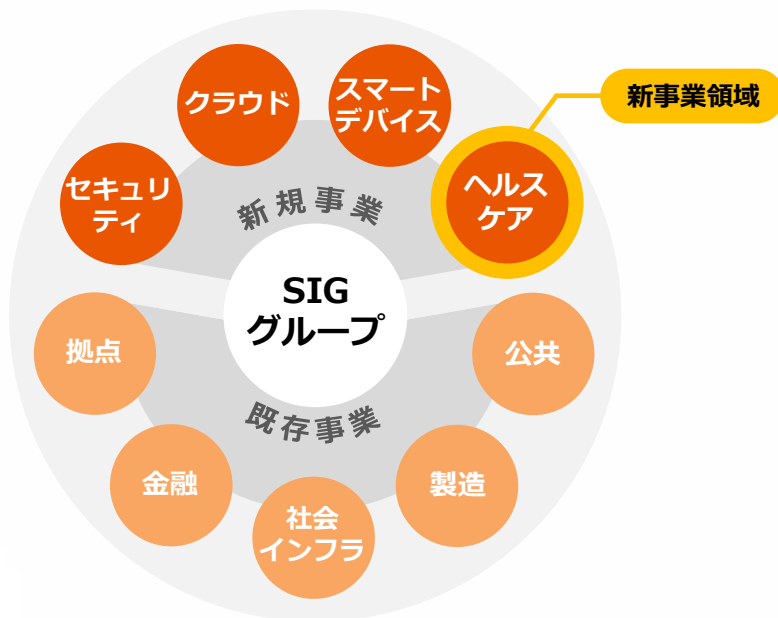
## 既存事業の得意分野と親和性が高いヘルスケア業界へ進出

### 計画

- 「『健康管理のインフラ』企業」を目指すバリューHR社をシステム開発で支援
- 公共事業で培った法改正対応等のノウハウを活用し、成長支援を効果的に実行可能
- 同事業領域は、事業の更なるDX化が見込まれ、成長余力が高い

### 事業領域の拡大

- ・バリューHR社の新規顧客開拓をシステム開発で支援
- ・既存顧客には、サービスの深掘り支援で、客単価の改善に支援



### バリューHRの概要

【社名】	株式会社バリューHR
【代表者】	代表取締役社長 藤田 美智雄
【設立】	2001年7月
【資本金】	2,029百万円
【証券コード】	6078 プライム市場

- 自社開発したバリューカフェテリア®システムで、健康情報のデジタル化サービス、各種健康管理サービスをワンストップで提供
- 健康経営・データヘルス支援サービスの提供
- 健康保険組合の新規設立支援、事務運営に係わるBPOサービスの提供

企業サイト <https://www.valuehr.com/docs/>



## 証明書発行機の利便性の向上に向けた取り組み

### 内容

- S I Gの証明書自動発行機のデジタル化に向けてG M Oグローバルサインと協業
- 証明書のデジタル化により、手間とコストの削減とペーパーレス化の促進
- S I GのノウハウとG M Oグローバルサインのセキュリティ技術による信頼性の高いデジタル証明書発行の実現を目指す

### 証明書自動発行機とは

- 学生への各種証明書、申請書、講座申込書等を自動発行
- 学生サービスの充実と職員の事務効率化を図る
- マイナンバーカードにも対応
- 現在までに77大学へ導入

#### 【導入メリット】

- ◆ 証明書発行業務の負荷を軽減
- ◆ 窓口での現金取り扱いを代行
- ◆ 学生の利便性向上
- ◆ 窓口業務時間外の証明書発行が可能
- ◆ Web から予約が可能（オプション）



※画像は「be-ambitiousIV」（高機能タイプ）

### GMOグローバルサインの概要

- 【社名】 **GMOグローバルサイン株式会社**
- 【代表者】 **代表取締役社長 中條 一郎**
- 【設立】 **2003年4月**
- 【資本金】 **356百万円**

- ヨーロッパで初めてWebTrust (※) を取得した認証局
- SSLサーバ証明書をはじめとした2,500万内の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業等多数の納入実績
- 『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的に活動

※WebTrustとは：AICPA(米国公認会計士協会)とCICA(カナダ勤許会計士協会)によって共同開発された監査基準に基づいて、世界四大監査法人の一つ、Deloitte社(デロイト トウシュ トーマツ社)が行っている国際的な電子商取引認証局監査プログラム。

## グループ従業員のモチベーション向上への取り組み

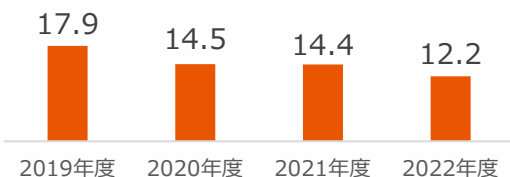
### 進捗

- 残業時間を削減し、有休取得率を上げて、持続的成長が可能な組織の構築
- 研修制度の充実で、スキルアップによる生産性・効率性の向上へ
- グループ従業員が企業価値向上を実感できる資産形成支援制度の導入

### ワークライフバランスの実現

- 残業時間の管理を徹底
- 作業負担の按分の最適解を常に模索
- 有休取得を促す

#### ■ 残業時間推移 (単位：平均時間/月)



#### ■ 有給取得率



### 研修制度の充実

- 転職者や新入社員に対して、当社グループが求める知見・スキルを説明する研修コンテンツをタイムリーに共有
- コロナ禍以前にシステムを導入、リモート環境での研修と従業員の習熟ペースの把握が可能
- 従業員の「学びたい」、「付加価値をつけたい」という要望に応える

従業員個人の  
向上心を  
後押しする  
仕組み

### 従業員持株制度の導入

- 従業員の資産形成のための福利厚生制度として2024年3月から開始
- 毎月少額の資金で自社株式を購入することが可能
- 自社の成長を株価で実感することと市場価値への意識付け

グループへの  
帰属意識、  
市場の評価を  
実感

従業員とのエンゲージメントを深め、働きやすい環境を共創

# ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社 S I G グループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)